

香川県労福協 第16回通常総会を開催

労働組合や福祉事業団体との連携をさらに強め、
支え合い・助け合いを軸とした福祉社会の実現に向けた取り組みの強化を確認
～2026年度事業活動計画等を満場一致で承認～

香川県労働者福祉協議会は、2026年5月25日、事業団体会員と労働団体正会員24名（委任状12団体）が出席して第16回通常総会を開催しました。来賓として、香川県商工労働部渡邊篤志次長、高松市創造都市推進局中濱淳史産業経済部長、香川県経営者協会釜野清登業務部長に出席いただき激励の挨拶を受けました。

通常総会は、橋本副会長の開会あいさつで始まり、議長に片山代議員（連合香川）を選出し議事に入りました。

冒頭、福家会長より「今年も一定の賃上げは続いているが、物価上昇も含め勢いをそぐ事象が、戦争・紛争を下に起こっていることが残念でならない。平和なくして労福協のめざす、働く人と家族のゆとり・豊かさも実現しない。労福協の立場でも、平和そして連帯・団結を求めている。2025年度も各方面の団体と連携し労働者福祉運動を進めてきた。2026年度もみなさんが安心して働き暮らせる一助となる取り組みを続けたい。」と、主催者代表の挨拶を行いました。



総会では、『2025年度事業活動報告』『決算報告』『会計監査報告』、『2026年度事業活動計画案』ならびに『2026年度予算案』が審議され、全議案とも承認されました。

また、『役員一部改選』も行われ、2026年度新役員体制が確認されました。